



2013年度 外報紙

2013年度スローガン

創造と挑戦 地域のリーダーとして一歩前へ
新たな自分、そして新たな南長野の為に

全体事業

茶臼山フェスティバル 2013

楽しさ発見

5月12日(日) 茶臼山恐竜公園



茶臼山ウルトラ〇×クイズ大会



五月二日(日)に(公社)南長野青年会議所主催の全体事業「茶臼山フェスティバル」が実施され、茶臼山恐竜公園にて盛大に開催されました。前日の準備段階では雨が心配されましたが、当日は見事に快晴となり絶好のフェスティバル開催日和となりました。また、同日開催として南長野の幸せ創造委員会主催の五月例会「青空ワークショップ」も開催され、また、各種団体のイベントも予定通りの開催となりました。茶臼山フェスティバルは、今

年で三回目を迎え、例年とは趣向を変えた各種イベントが実施されました。三大イベントの目玉として、四つあるスタンブラリーコースを制覇し、各コースごと違う景品が当たる「謎解きスタンブラリー茶臼山アドベンチャー」が開催されました。午前中から多くの来場者にお越しいただき、限定一、〇〇〇枚のスタンパ台紙が午前中で終わる程の盛況ぶりを見せました。そして、参加したプレイヤーは広い園内を散策し謎を解きながら恐竜スタンプを探している姿はとて印象的でした。恐竜公園内をくまなく堪能することので



きるとても有意義なイベントとなりました。また、全コースをクリアしたプレイヤーのみに権利のあるニンテンドー3DS LLの大抽選会では、五〇〇人以上という予想を上回る数の抽選権利者が受付し三名の幸運なプレイヤーにニンテンドー3DS LLが手渡されました。童謡の森にありまますステージでは、篠ノ井高等学校吹奏楽部の吹奏楽演奏や恐竜ウルトラクイズ大会、森と木「ピートウッズ」によるダンスパフォーマンス、そして、元気いっぱいいな子供達による恐竜大声コンテストが開催されました。篠ノ井高等学校吹奏楽部の吹奏楽演奏で



は、地元高校生の奏でる素敵な演奏に訪れた来場者が耳を傾け聴き入っていただきました。恐竜ウルトラクイズ大会では、当会議所の若手司会の進行のもと参加された方に充分に楽しんでいただけたクイズ大会となりました。森と木「ピートウッズ」によるダンスパフォーマンスでは、障がい者の元気あふれるダンスパフォーマンスを披露し会場を沸かせました。恐竜大声コンテストでは予想以上の子供達の参加があり、コンテスト審査員に長野県観光PRキャラクターのアルクマをお招きするなど、子供達に楽しんでいただけたコンテストとなりました。(公社)南長野青年会議所の五月例会として開催された「青空ワークショップ」も夢をかたちに

長いようで短い一日でしたが、お越しいただいた皆様に茶臼山の魅力を、そして、サブタイトルにあります「楽しさ発見」を感じていただけた茶臼山フェスティバルとなりました。ご来場いただきました皆様大変感謝申し上げます。

5月例会

5月12日(日) 茶白山恐竜公園

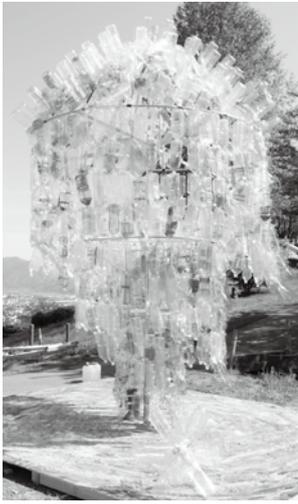
青空ワークショップ 夢をかたちにしよう

企画担当 ■ 南長野の幸せ創造委員会

五月二日(日)茶白山恐竜公園にて南長野の幸せ創造委員会主催で「青空ワークショップ」夢をかたちにしよう」を開催いたしました。

本例会は、全体事業「茶白山フェスティバル」楽しさ発見」と同日開催ということもあり、午前中から多くの来場者にお越しいただきました。

地元で活動を続けるアーティスト越ちひろ氏を講師としてお招きし、越ちひろ氏監修のもと、夢を描いたペットボトルオブジェの制作を行いました。長野南高等学校の生徒さんにもご協力いただきながら茶白山恐竜公園に訪れた来場者にも参加していただき、大きなペットボトルオブジェが完成いたしました。



越ちひろ氏監修
ペットボトルオブジェ



本例会は、長野南高等学校生徒さんはもちろん来場者の喜んで作っている姿を見るのが出来たとともに印象深い例会となりました。今回制作したペットボトルオブジェは、南長野の冬のイルミネーションで光り輝く予定です。乞うご期待ください。

委員長所感

宮崎 弘章

茶白山フェスティバルと同日開催として行いました五月例会では、二つのテーマをもって開催させて頂きました。ひとつは、私たちがJC活動を行っているところでも裏方として活動を行っている方が純粋に事業を楽しむ、または一般の参加者と繋がる機会を失いがちです。そこで、参加者から素の意見を汲み取れる事業にしたいと思いました。ふたつめは、これから行いますイルミネーション事業に繋げる事の出来る事業の開催です。

いづれも、多くの方に訪れて頂ける茶白山フェスティバルの中で行う事で、より大きな効果を挙げられると考え開催いたしました。

作品の製作には、アーティストの越ちひろさんに監修として、また、長野南高校の美術部の生徒の皆さんにも参加して頂き、一般の参加者と午前は全長約五メートルのペットボトルオブジェを作成、午後にはオブジェの周囲のステージにペイントをしました。

開催当日は朝から天候にも恵まれ最初から非常に多くの方に参加していただき、自由にペットボトルの装飾を楽しんで頂きました。午後のペイントでは最初なことを書くことが皆さん考えていました。一人が書き始めた途端あつとつと間に約五メートルのステージは絵の具で埋め尽くされ小学生は手も足も使って色を塗っているのが印象的でした。



2013年度
南長野の幸せ創造委員会
委員長
宮崎 弘章

最後に本事業の成果を次につなげ、より良い事業を行えるようしっかりと委員会メンバーと協力して準備して行きたいと思えます。

委員会事業

5月26日(日) 南長野運動公園相撲場

第29回 わんぱく相撲長野場所

企画担当 ■ 南長野のたから育成委員会

五月二六日(日)に(公社)南長野青年会議所主催の第二十九回わんぱく相撲大会・長野場所が南長野運動公園相撲場にて開催いたしました。

本事業は、わんぱく相撲を通して子ども達の心身の鍛錬と健康の増進を図る事、更に勝敗だけではなく、相撲が持つ礼節による相手を思いやる気持ちを学び仲間を応援することにより、子ども達の友情や親子の絆も深めていただくことを目的に南長野のたから育成委員会主催のもと、わんぱくの会の皆様、長野市相撲連盟、長野市少年相撲クラブの皆様とともに開催させて頂きました。

一年生から六年生までの男の子、女の子たちが肌と肌をぶつけ合い、勝ったときの嬉しさや負けたときの悔しさを子供たちが経験し得たわんぱく相撲大会となりました。特に女の子が男の子を投げ飛ばす姿などこの年頃にはしか見ることが出来ないとても印象に残る一番などもありました。



七月二七日(土)から二八日(日)にかけて四年生から六年生までの横綱の子供たちわんぱく相撲全国大会に出場し、両国国技館へ行って参りました。

委員長所感

酒井 総一郎

当日は長野篠ノ井ライオンズクラブ主催の「スプリングフェスティバル」と同時開催したこともあり、本年も老若男女問わず多くの方にご観覧頂きました。そして、子ども達が泣いたり笑ったり、喜んだり悔しがったりと子ども達の多くの表情・場面を拝見し、元氣あふれる相撲大会を開催する事が出来ました。出場選手は前年度から微減となりました。私も選手でしたが、新たな取り組みとしてチラシ配布、ホームページを有効活用することで個人による申し込みを拾い上げ、多くのご参加頂くことが出来た事は一歩前へ進めた事だと感じております。また、本年は運営の観点から新しい試みをしたため、連携・意思疎通のミスが発生しご心配をお掛け致しました事この場を借りてお詫び申し上げます。その後はスムーズに運営することが出来、経験豊富な南長野JCメンバーのお力があつたこそだと感じております。炎天下の中ご尽力頂きました皆様にご感謝申し上げます。



2013年度
南長野のたから育成委員会
委員長
酒井 総一郎



記念式典

(公社)南長野青年会議所・JCI KOREA 西大邱 姉妹締結30周年記念式典

6月2日(日) ホテル国際21

企画担当 ■ 国際交流委員会

六月二日(日)に、(公社)南長野青年会議所とJCI KOREA 西大邱の姉妹締結30周年を祝う式典がホテル国際21にて開催されました。

(公社)南長野青年会議所とJCI KOREA 西大邱の交流は、互いにリンゴの産地であることなどをきっかけに一九八四年に姉妹締結して以来、一年も休まずに交流を続け三〇年という節目の年を迎えることが出来ました。同一団体同士が三〇年もの永きに渡り交流が続いていることは、全国的に見ても非常に珍しいことであり、また、政治に左右されることもない交流関係が続けられたことも歴代の両JCIの先輩諸兄の並々ならぬ努力の結果であると確信いたします。

姉妹締結三〇周年記念式典には、両JCIの会員、OBなど一〇〇名余りが出席され、綿貫理事長の挨拶では、ファン・ヨンウォン会長との出会いや言葉や文化が違っても交流ができることを感じたと挨拶しました。その後、西大邱青年会議所会長 ファン・ヨンウォン君の挨拶、長野市長 鷲澤正一様、駐新潟大韓民国総領事館 総領事 李永龍様(イ・ヨンヨン)様、そして、姉妹締結の架け橋になっていただいた国際親善クラブ会長 小出博治様の祝辞と続き、最後に姉妹締結の調印を交わ

したJCI KOREA 西大邱 特友会 ド・ジエウク様、そして南長野青年会議所シニア会 久保田俊一先輩の祝辞と続きました。駐新潟大韓民国総領事館 総領事 李永龍様の挨拶では、韓国と日本は重要なパートナーであり、両国を繋ぐ架け橋として活動してほしいなどと挨拶しました。その後は、三〇年に渡る交流を記録した映像を鑑賞し、綿貫理事長より今後も友情を深く永遠に交流し続けるとした「姉妹締結三〇周年宣言文」を読み上げました。最後に両国全員による記念撮影を行い、姉妹締結三〇周年記念式典が閉会されました。



翌三日(月)に、公式LOM訪問としてJCI KOREA 西大邱のメンバーをJCLームへお招きし、お互い記念品などを交換し、その後、南長野運動公園にて植

6月例会

姉妹締結30周年 訪日歓迎レセプション

6月2日(日) ホテル国際21

企画担当 ■ 国際交流委員会

姉妹締結三〇周年記念式典に続き、国際交流委員会主催で訪日歓迎レセプションを開催いたしました。

会場は両国終始穏やかな雰囲気となり、互いに杯を酌み交わし、交流を深めました。

また、アトラクションとして戸隠忍者の実演を鑑賞し、ド・ジエウク様と久保田俊一先輩による吹き矢体験や綿貫理事長とファン・ヨンウォン会長の忍者刀による実演をし、会場を湧かせました。



姉妹締結30周年記念植樹&記念プレート除幕式



姉妹締結30周年記念プレート前で記念撮影

樹や姉妹締結三〇周年記念プレートのお披露目式を行い、お昼を挟んで長野県庁へ訪問いたしました。そして、最後に善光寺へ参拝し、西大邱青年会議所メンバーは長野を跡にししました。二日間というスケジュールでしたが、三〇年という節目に相応しい交流となりました。



委員長所感

小林 俊之

去る六月二日、JCI KOREA 西大邱(ソテグ)姉妹締結三〇周年記念式典と六月例会 訪日歓迎レセプションがホテル国際21にて開催されました。今回は三〇周年という節目に相応しく調印式当時の会長ド・ジエウク様、そして理事長久保田俊一先輩にもお越し頂きました。

来賓として長野市長、鷲澤正一様を始め、三〇年前に姉妹締結にご尽力頂きました、長野国際親善クラブ会長の小出博治様と会員の皆様。そして小出会長の配慮で、駐新潟大韓民国総領事館 総領事 李永龍様にもお越し頂き、ご挨拶を賜りました。

両青年会議所の先輩方も沢山お見えになり、JCI KOREA 西大邱特友会からはチョン・ジョンピル会長を初め、奥様も一緒に一五名の皆様が長野の地までお越し頂きました。南長野青年会議所シニア会からは、高澤史納先輩を初め三〇名の先輩諸兄にご出席を頂きました。

そして、JCI KOREA 西大邱会長長ファン・ヨンウォン君を初め一〇名のメンバーと当南長野青年会議所からも理事長綿貫昌夫君を初めとして五名が参加し総勢一〇〇名と盛大に開催されました。三〇周年式典では皆様からのご祝辞を賜りそして津軽三味線の歓迎演奏。お互いの交流が永遠と続くための三〇周年宣言文。

歓迎レセプションでは戸隠忍者による演舞が行われ、調印式当時のド会長と久保田理事長による吹き矢の体験。そしてファン会長と綿貫理事長による太刀での大根切りの体験などとても盛り上がった一日でした。

翌六月三日は、公式LOM訪問でお互いの記念品の交換や情報交換。その後南長野運動公園で、二五周年時二本植樹した桜に五本を増やした植樹と三〇周年宣言文のプレートの除幕式を行いました。午後は、長野県庁訪問。長野県庁には韓国国旗が掲げられておりました。その後善光寺参拝。西大邱メンバーは長野の地を跡にしました。

先輩諸兄が築いた国を超えての友情をこれからも糧をつないでいきたいと感じ、改めてこの交流の必要性を実感した二日間でした。皆様ありがとうございました。

6月15日(土) 17(月)

大韓民国・西大邱

訪韓事業2013

国際交流委員会

本年は、六月にJCI KOREA 西大邱姉妹締結30周年式典ならびに訪日歓迎レセプションが行われましたが、その二週間後に今度は我々が韓国へ向かうという国際交流としては濃厚な月となりました。

本年は、韓国光州にてASPCAが開催されており第一日は、西大邱メンバーに案内を頂きました。会場到着は一九時ではありましたが、各国のブースは活気に溢れており、他国の文化の中でも青年会議所の活動は変わりなく行われており、青年会議所を通して各国の青年がとて身近に感じられました。

また、その後西大邱の第二・第三の姉妹締結を行っているベトナム・カンボジアとも合同の晩餐会が開かれ、益々同じ青年として同じ活動をしている同志というのとはこれまでつながるのとは感じさせられました。

二日目は、西大邱へ移動。その後公式LOM訪問と訪韓歓迎レセプションを西大邱メンバーの企画のもと参加させて頂きました。

本年は、我々が訪問するだけでも大変であったと思いますが、ASPCAや第二・第三の姉妹締結の国々への対応の中、本当に南長野青年会議所のメンバーにも気を使って頂き、心からのおもてなしを頂戴しました。要所で、ちょっととした心遣い



と行動、これは我々も見習うべきところがありました。

そして、公式LOM訪問ではお互いの記念品の交換。そしてレセプションではお酒の力もあり、いろいろとお話ができ、文化の違いのなかでも同じ思いのなかで活動していることを感じることが出来ました。

三日目は、民間の日本人としては珍しく、西大邱に基地がある空軍の敷地に入ることが出来ました。

これは西大邱メンバーに配慮頂き、普通の観光ではまず入れない、そんな場所を案内して頂きました。

軍人の皆様はとても気さくで、日本人だからと言って何か抵抗するわけではなく空軍の歴史など親切に教えて頂きました。

本年は、ファン会長と綿貫理事長との不思議なご縁から始まり例年になく、内容が濃い訪韓事業となりました。

日程的には大変でしたが、それ以上に西大邱メンバーと南長野メンバーがお互いに深く知り合えた良い機会になったと感じます。もっと、一人一人が友人になれる。そんな姉妹校交流になればと存じます。

7月例会

7月26日(土)

篠ノ井駅2階
ペDESTリアンデッキ内

合戦まつり前夜祭「希楽のつどい」

企画担当 ■ 南長野の幸せ創造委員会

七月二十六日(金)に、篠ノ井駅東口二階ペDESTリアンデッキ内にて、南長野の幸せ創造委員会主催で、七月例会・合戦まつり前夜祭「希楽のつどい」を開催いたしました。

本例会は、篠ノ井合戦まつりの前夜祭ということとで、青を基調とした夏のイルミネーションで地域市民に「涼しさ」を感じていただきたく、五月例会で制作したペストリアンアップやペDESTリアンデッキ内に装飾されたイルミネーションの点灯、地元の人々に書いていただいた紙灯籠の点火、また、場を盛り上げるべく、ステージにて地元のアマチュアミュージシャン三組による生演奏などイベントを開催しました。

そして、本例会のもう一つの目的として、毎年冬に開催される南長野運動公園のイルミネーションについて地域の方にはどのように感じているのかというアンケートを実施し、アンケートに協力していただいた方に南長野青年会議所のオリジナル

七月二十六日(金)に、篠ノ井駅東口二階ペDESTリアンデッキ内にて、南長野の幸せ創造委員会主催で、七月例会・合戦まつり前夜祭「希楽のつどい」を開催いたしました。本例会は、篠ノ井合戦まつりの前夜祭ということとで、青を基調とした夏のイルミネーションで地域市民に「涼しさ」を感じていただきたく、五月例会で制作したペストリアンアップやペDESTリアンデッキ内に装飾されたイルミネーションの点灯、地元の人々に書いていただいた紙灯籠の点火、また、場を盛り上げるべく、ステージにて地元のアマチュアミュージシャン三組による生演奏などイベントを開催しました。



うちわをプレゼントしました。皆様から集められたアンケートを基に今後のイルミネーション事業に活かしていきたいと思えます。

夏のイルミネーションは、七月二十六日(金)から二八日(日)まで点灯し、篠ノ井合戦まつり開催中に篠ノ井駅に飾られたイルミネーションが美しく光り輝きました。

委員長所感

宮崎 弘章

今回七月例会を計画するにあたって、夏のイルミネーションを篠ノ井の街中で行い、訪れて頂く方々と、私たち青年会議所会員が絡むようになって夏の夜をゆつくり楽しんでいただきたい。そして、会議所と地域住民の距離を近づけたい。そんな思いで計画致しました。

進めていく中で、五月の例会で一般の来場者、そしてアーティストである越ちひろさんに協力して頂き作成したオブジェのライトアップを盛り込むほか、一月のイルミネーション事業へのアンケート活動を行う等、内容のある事業を開催出来たと感じます。

また、合戦まつりの前夜祭という位置で開催させて頂く事になり、イルミネーションを合戦まつりの期間中も行わせていただく事が出来、非常に多くの方に期間中訪れて頂き、楽しんで貰うことが出来、篠ノ井地区の関係諸団体様には大変感謝しております。

最後に、今回のアンケートを次に繋げると共に、しっかりと地元地域に根を張る活動をこれからも展開して行きたいと思えます。

編集後記

高知県四万十市で四十一度という国内観測史上最高気温を更新するなど、記録的な猛暑となった今年の夏もようやく一段落し少しは秋らしくなってきました。ただ、すっかりお馴染みとなったゲリラ豪雨や竜巻をもたらす「スーパーセル」、台風など、心配事は尽きる事はありませんが、かと思えば、異国の地から熱いニュースが届きました。ニューヨークキャンキースのイチロー選手が日米通算四千本安打を達成し、新たな金文字塔を打ち立てました。そして達成した翌日、早速四千一本目を打ち、まだまだ記録の上積みはありそうです。

暑く、熱い今年の夏を乗り切り、このまま、更に「あつく」日々歩いて行きたいものです。

総務広報委員会 委員長 金田 隆一

会員募集!!

南長野青年会議所は、新しい仲間を募集しております!

今しか会えない仲間がいる。今しかできないことがある。

お問い合わせ先 (公社)南長野青年会議所事務局 ☎026-292-2310

公益社団法人 南長野青年会議所
〒388-8007 長野県長野市篠ノ井布施高田895-1
TEL: 026-292-2310 FAX: 026-293-5709
E-mail: minaminaganojc@mtg.biglobe.ne.jp

発行元: 総務広報委員会 編集長: 金田 隆一
印刷所: 有限会社サクセス

ホームページ更新中! 是非ご覧下さい!!
南長野青年会議所 検索

かがり火のバックナンバーはホームページでご覧ください。